

IPW緩和ケアコース

多職種協働 事例検討研修

日時

2025/

5/10

土

申し込み締切り：5月3日(土)

第1回

倫理的ジレンマ

13:00-16:00 (全6回)

事例

Aさん(84歳女性)は造血幹細胞腫瘍(MDS)で8年前から治療を受けてきた。近年急激に認知症が進み、抗がん剤点滴中に動いたり、入院していることが分らず動き回ったりする。家族は「治療で長生きを」と化学療法を要望し、医師も信頼に込めたいと思っている。スタッフから抗がん剤治療を疑問視する声が出てきた。

講師

京都大学 臨床倫理准教授 佐藤恵子氏

会場

オンライン
(ZOOM)

対象

医師・看護師・
MSW・薬剤師など

7/12 土

麻薬：
ケミカルコーピング

事例

痛みの訴えと易度性が高くなって
いるAさん。これは医療麻薬の依
存症？医療者は巻き込まれる

講師

金沢大学病院 専門薬剤師

9/13 土

「怒り」の
矛先になる時

事例

BSCを告げる時、激しい「怒り」
で、治療継続を求めるAさんと
家族にどう対応する？

講師

がん研有明病院 精神腫瘍科部長

11/8 土

AYAの治療拒否

事例

AYA患者のAさんは、治療を拒否
する。家族は治療希望で医療者
間でも意見が分かれて…

講師

聖路加国際病院 小児科部長

1/10 土

多問題家族：
ヤングケアラー

事例

家庭内別居のAさんは、長男(中
学生)を頼りに療養し、病院への
付き添いも長男である

講師

がん研有明病 がん看護専門看護師

3/14 土

終末期鎮静療法
とSDM

事例

耐え難い苦痛でAさんは、「鎮
静療法」を選んだ。家族は夜
間・休日問わず、説明を求める

講師

国立がんセンター 緩和ケア医長

申込

長野北信がんプロホームページの「受講者の方へ」から、または右のQRコードからお申し込みください。その際に、申込みフォームお問合せ欄に、第何回を受講されるかを記入してください。 例：全回希望、第1、2回希望 など



北信がんプロ

主催 長野県看護大学大学院

事務局

お問合せ

長野県看護大学大学院 がん看護事務局

gan-cns@nagano-nurs.ac.jp

https://www.nagano-ganpro.jp/

長野県北信がんプロ

詳しくはWebサイトをご覧ください

https://www.nagano-ganpro.jp/